

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 福山鑄造株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0048 岡山県笠岡市緑町3番2
----	-------------------------	----	---

本票作成	部署名：製造部
------	---------

主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業
-------	-------	----	---------

事業の概要	鋳鉄鑄物製造業（鑄鉄管、可鍛鑄鉄を除く） 従業員：約90人
-------	-------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	笠岡工場	岡山県笠岡市緑町3番2

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 1 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(令和2年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和5年度)
	5,311 t CO <sub>2</sub>	6,516 t CO <sub>2</sub>	5,152 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	笠岡工場	6,516 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和3年度	～	令和5年度	(3箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	10.3 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 溶解重量(t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		0.656 t CO <sub>2</sub> /(t)	0.589 t CO <sub>2</sub> /(t)	0.636 t CO <sub>2</sub> /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

<p>1. コロナ禍から脱却。生産量は対基準年度比 137%まで回復した。CO<sub>2</sub>削減は目標である 原単位基準で、10.3%減少となり目標を達成できた。</p> <p>2. 総排出量は、対基準年度比で123%に増加しているが、変圧器・エアコンの更新・太陽光発電設備設置等々、省エネに努め、生産量の増加に対し、低く抑えることができた。</p>
--

**【推進体制】**

1. 省エネルギー管理組織：代表者をトップに省エネ活動を全員参加で実施する。
2. 省エネルギー委員会：エネルギーの使用について、分析、検証を行い省エネを実施する。
3. 不良品提言委員会設置：製造工程から見直し実施。不良品の低減、歩留まりの向上に努める。
4. 省エネ設備診断実施：電力会社による。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
笠岡工場	<p>(令和5年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の照明をLED等高効率型に更新した。</li> <li>・電動機、ポンプの耐用年数を考慮して、順次高効率機に更新し； 3Dプリンター、三次元CADの活用等により歩留まりの向上に努めた。</li> <li>・事務所空調機（5台）更新した。</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の照明をLED等高効率型に更新した。</li> <li>・電動機、ポンプの耐用年数を考慮して、順次高効率機に更新した。 3Dプリンター、三次元CADの活用等により歩留まりの向上に努めた。</li> <li>・変圧器（3機）を更新する。（中長期計画による）</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	・2023年度 太陽光発電設備設置した。設備容量 61,020 kw
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・冷暖房の消費電力低減のため、クールビズ、ウオームビズ運動に取り組む。
- ・社有車及び私有車に対して、アイドルストップ運動を啓蒙する。